



デジタル・大型開発優先を批判



酒井宏明県議は 10 月 30 日、本会議討論に立ち、2023 年度一般会計決算等の認定に反対しました。この中で酒井氏は、子どもの医療費無料化を高校生世代まで拡大したことを評価しつつ、相変わらずのデジタル偏重、大型開発優先で県民の暮らし、福祉、教育に冷たい県政運営だったとのべました。

2023 年度決算に反対討論

デジタル人材の育成を名目にした中高生向けの TUMO Gunma について、学習効果など納得のいく説明もないまま動き始めたことを批判。GunMaaS に関し、「群馬初のサブスク（公共交通機関の乗り放題チケット）」には5か月間で18件しか利用がなかったとして、バスやタクシー、中小私鉄への直接支援こそ充実させるべきだと強調しました。

高崎市の旧堤ヶ岡飛行場跡地をデジタル産業集積地にする計画について、優良農地をつぶすのではなく、農家の苦境を打開する施策こそ求められているとのべました。

桐生市の違法・不適切な生活保護行政に対して、「県の監査でなぜ見抜けなかったのか」と、改善への指導強化を求めました。

朝鮮人追悼碑撤去は暴挙

酒井氏は、群馬の森の朝鮮人追悼碑を「撤去するな」という全国から抗議の声を無視し、行政代執行で撤去してしまったことに言及。知事が「碑文に誤りはない」「歴史を否定する意図はない」というのなら、

歴史修正主義や差別主義を助長する言動に対して抗議や撤回を求めるべきだったとのべ、それをせずに「法的に決着した問題」などと居直ることは、排外主義者、レイシストの理不尽な要求に屈したものの、戦争における加害の歴史を覆い隠そうとするものにほかならないと厳しく批判しました。



県民会館の請願を一部採択

今定例会に県民会館についての請願が提出され、「県民会館の方向性の検討について、所在地である前橋市や文化芸術分野の専門家、利用者を含む多くの県民の意見をしっかりと聞き、全県的な文化振興を図る観点から行われるよう求める」という部分が全会一致で趣旨採択されました。

酒井県議は本会議討論で、県都前橋から、歴史的価値のある文化の殿堂をなくさないでほしいという県民の声をしっかりと受け止めるよう求めました。

10.27 総選挙の結果について

10 月 27 日投開票の衆議院議員選挙で、日本共産党は、北関東比例ブロックで塩川鉄也氏の再選を果たすことができましたが、全体では 10 議席から 8 議席に後退する結果となりました。

群馬1区では、店橋世津子氏が 20,330 票（得票率 12.8%）を獲得しました。総選挙では、日本共産党と「しんぶん赤旗」が自民党の裏金事件を世に暴き、組織的犯罪行為として徹底追及。選挙中には自民党非公認候補への政党助成金からの 2000 万円の支給



花束を贈られ感謝と新たな決意をのべる店橋世津子氏

を告発。くらし最優先の経済の立て直し、憲法9条を生かした平和外交などの政策を語りました。

日本共産党演説会

弁士 山添 拓 参院議員・党政策委員長
前橋市議選予定候補

12月7日（土）午後2時
前橋市総合福祉会館 多目的ホール

主催：日本共産党前橋地区委員会 TEL 027-232-1561

無料法律生活相談

日時：12月5日（木）午後6時（要予約）

場所：日本共産党前橋地区委員会

前橋市下小出町2-16-7 TEL027-232-1561

※近隣トラブル、相続、借金問題など、なんでもお気軽にご相談ください。弁護士が対応します。